

## 第2章 羽幌町の子ども・子育てを取り巻く環境

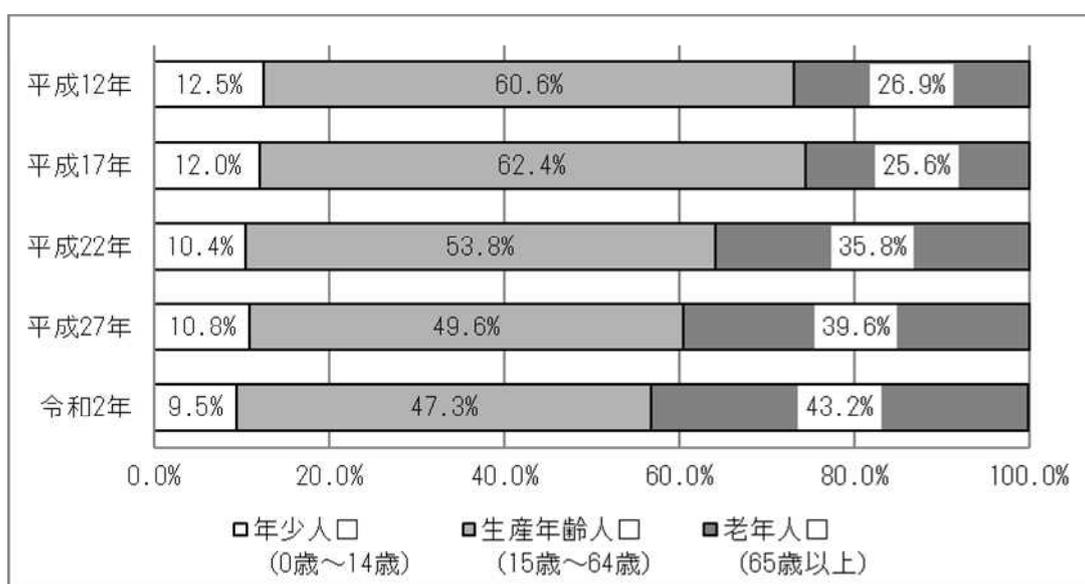
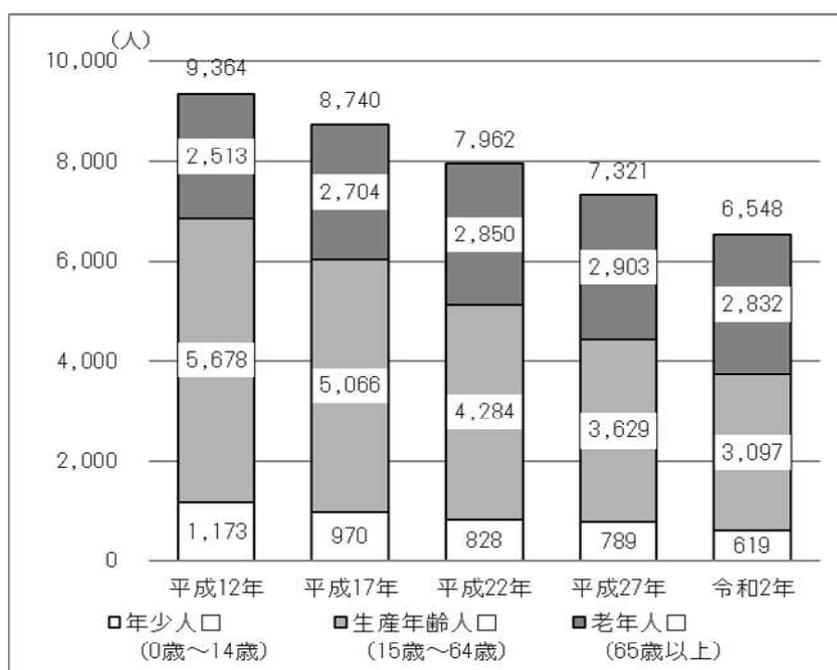
### 1 人口・世帯・人口動態等

#### (1) 人口の推移（出典：国勢調査）

○平成12年以降減少にあります。

○平成12年から令和2年までの20年間で、年少人口は約550人、生産年齢人口は約2,580人減少しています。

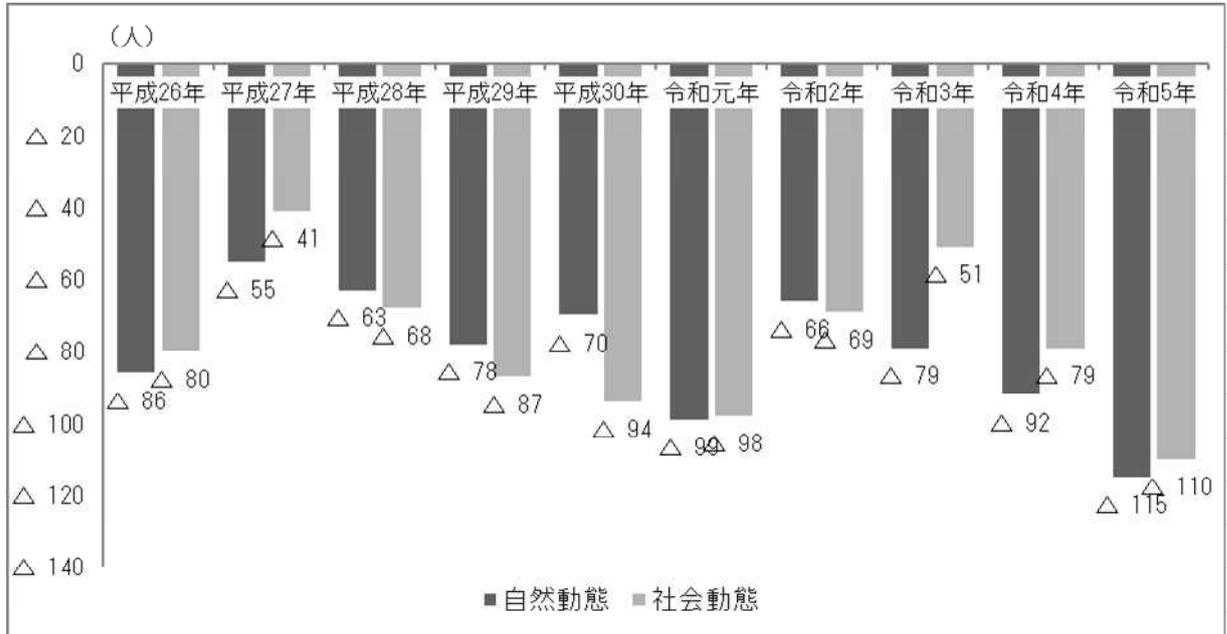
○老年人口は20年間で約320人増加。全体に占める割合は約16ポイント増加しており、少子高齢化が進んでいます。



**(2) 自然動態・社会動態 (出典：町勢要覧)**

- 社会動態 (転入-転出) は、平成 26 年以降、マイナスで推移しており、人口減少の主な要因となっています。
- 自然動態 (出生-死亡) は、平成 26 年以降、マイナスで推移しており、人口減少を加速させています。

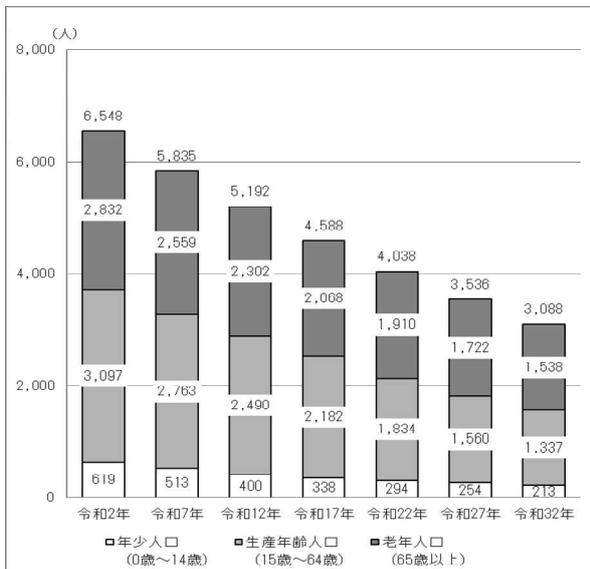
■自然動態・社会動態の推移



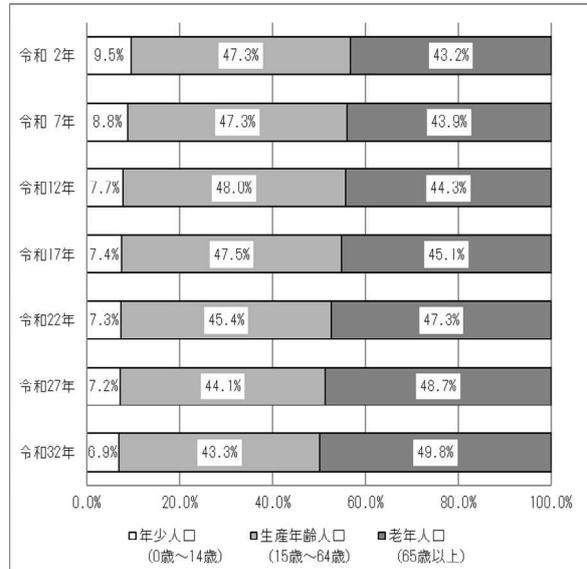
**(3) 将来の人口推計 (出典：人口動態研究所)**

- 令和 32 年(西暦 2050 年)には、約 3,000 人まで減少すると推計されています。
- 年少人口も 30 年間で約 400 人減少すると見込まれています。

■年齢 3 区分別人口の将来推計



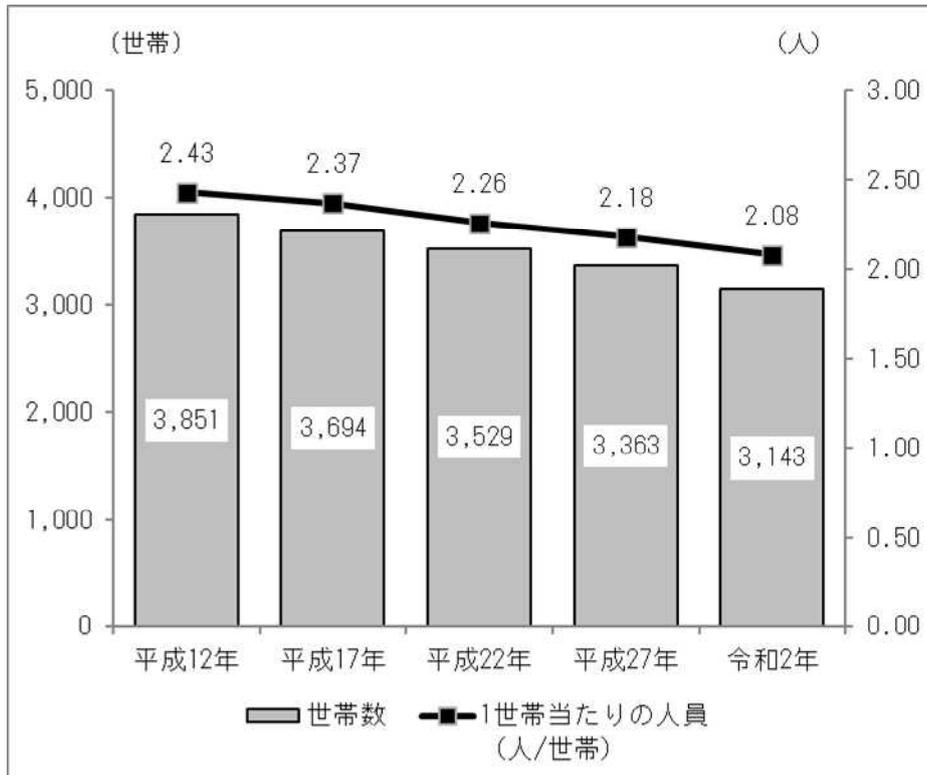
■年齢 3 区分別人口の将来推計の割合



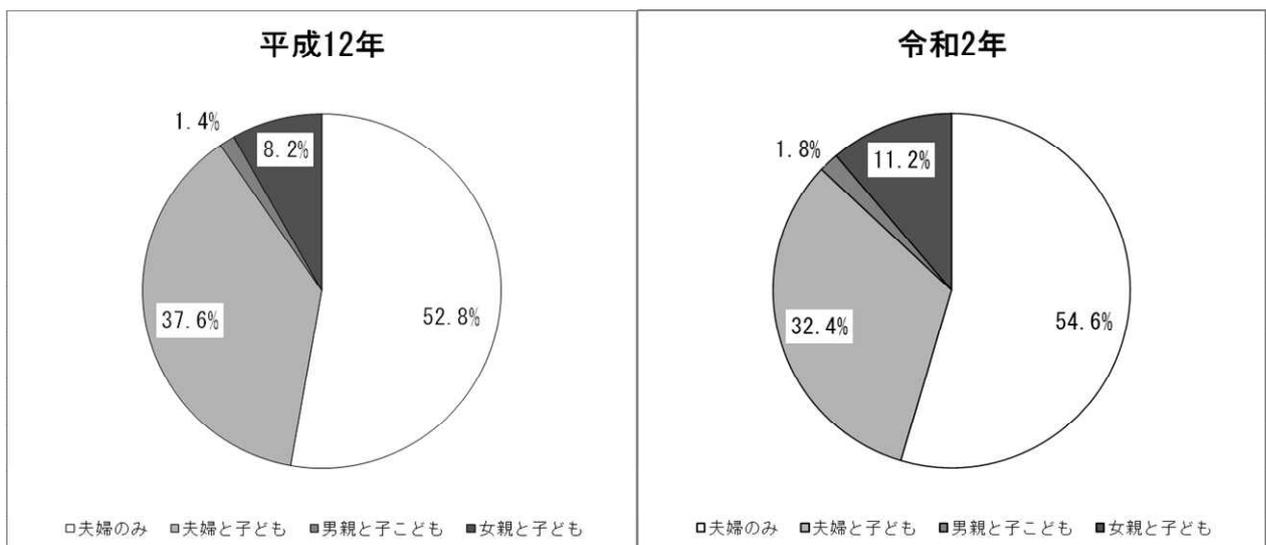
**(4) 世帯の状況 (出典：国勢調査)**

- 世帯数は年々減少しており、平成12年から20年間で約710世帯減少しています。
- 1世帯あたり人員も減少し続け、核家族化が進展しています。
- 核家族のうち、「夫婦のみ」「男親と子ども」「女親と子ども」世帯が増加、「夫婦と子ども」の割合は減少しています。

■世帯数および1世帯あたり人員の推移



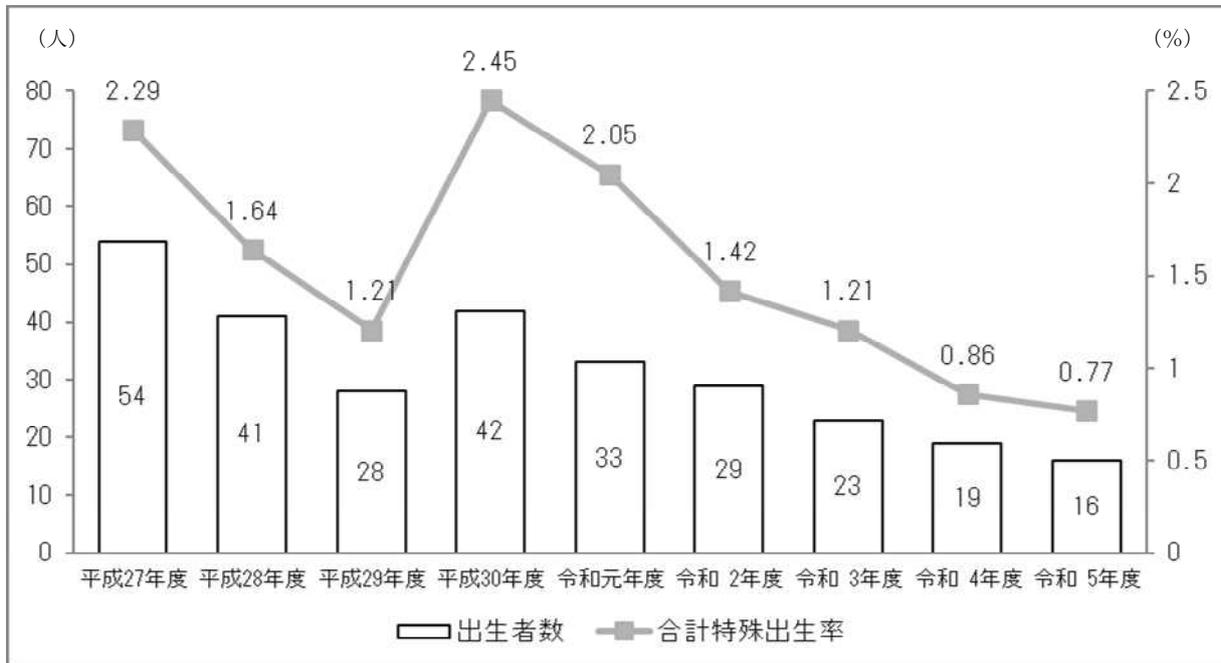
■核家族世帯の構成比



(5) 出生の状況 (出典：住民基本台帳、合計特殊出生率は健康支援課保健係で算出)

○出生数は年度によりばらつきがありますが、平成27年度の54人をピークとして、令和3年度以降は概ね20人前後で推移しています。

○合計特殊出生率は平成30年度をピークに減少しています。



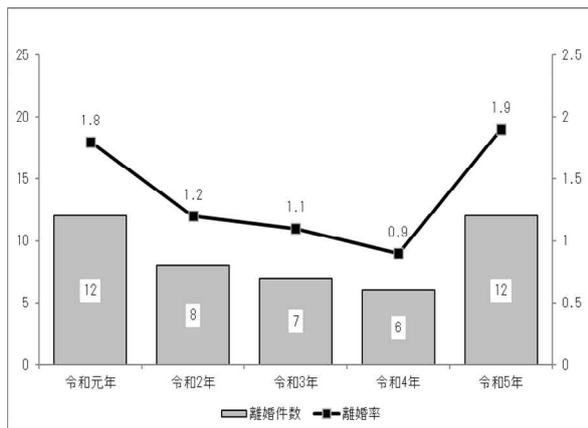
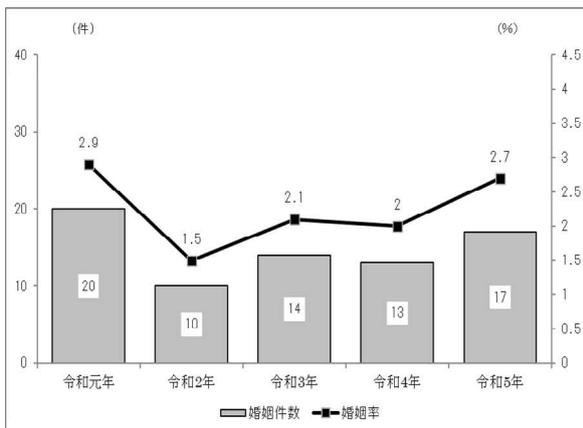
(6) 婚姻・離婚の状況 (出典：町勢要覧)

○婚姻数は、令和元年をピークとして減少していましたが、令和5年は増加しております。

○離婚数、離婚率は令和4年まで減少傾向にありましたが、令和5年は増加しております。

■婚姻数・婚姻率推移

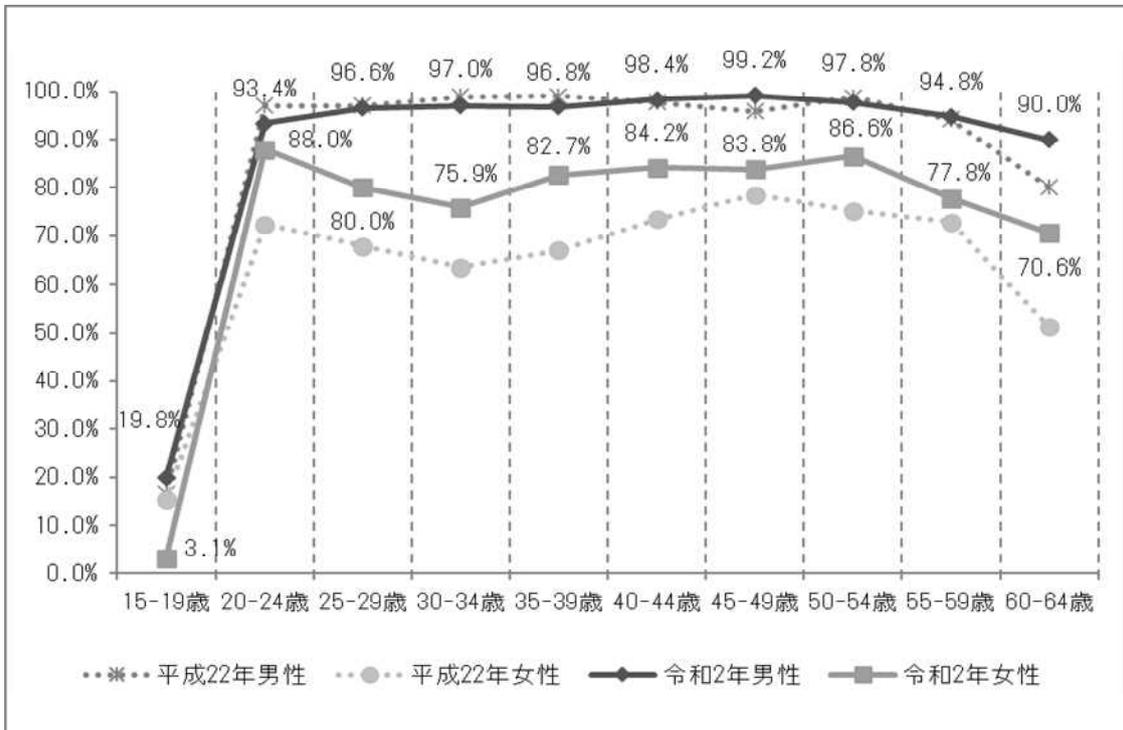
■離婚数・離婚率推移



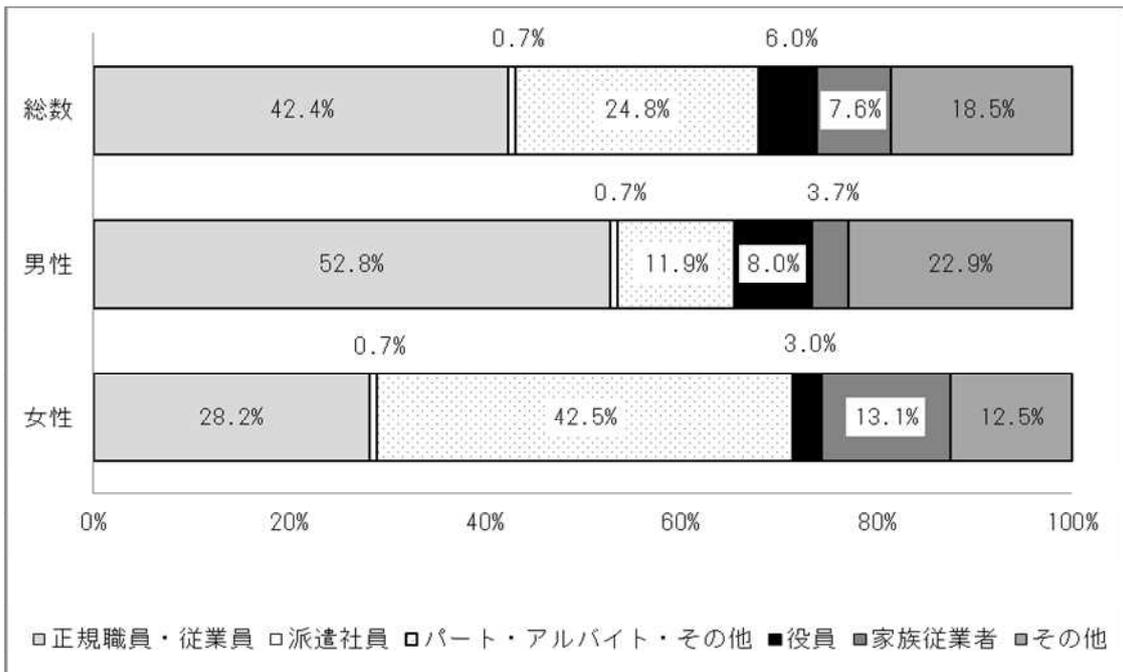
(7) 就労の状況 (出典：国勢調査)

- 女性の 20 歳以上の労働力率が上昇しています。労働力率が 20 歳前半までは上昇し、25～34 歳の年齢層で低下する、いわゆる「M字カーブ」が緩やかになっています。
- 男性は「正規職員・従業員」、女性は「パート・アルバイト・その他」の割合が高くなっています。

■年齢別労働力率(M字カーブ)の推移



■従業上の地位別従業者数の割合

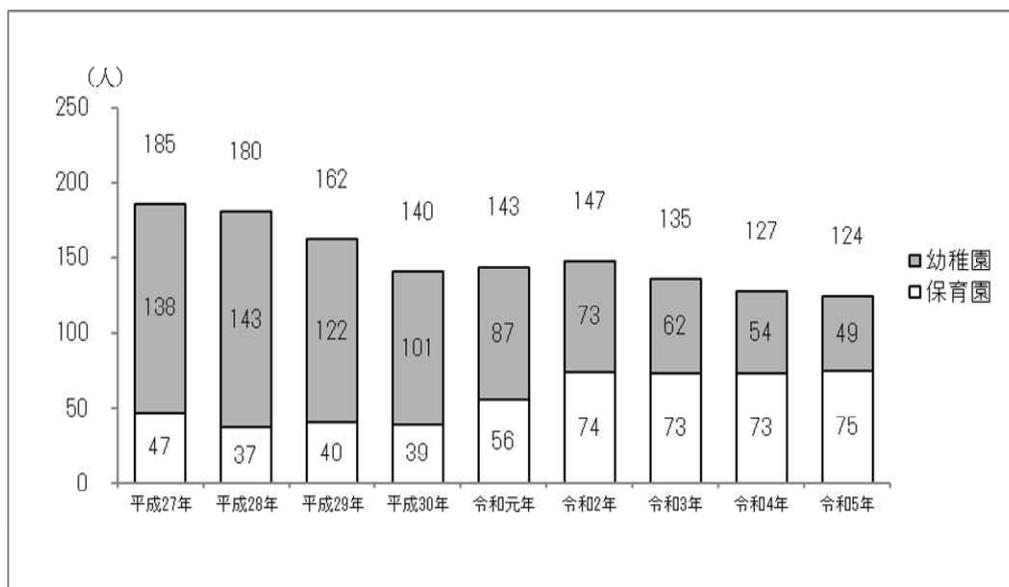


## 2 教育・保育施設の状況

### (1) 利用児童数の推移

- 保育園（認定こども園保育部門含む）利用児童数は令和元年以降増加しており、幼稚園（認定こども園教育部門含む）利用児童数は平成29年以降減少しています。
- 全体では、平成27年以降減少傾向がみられます。

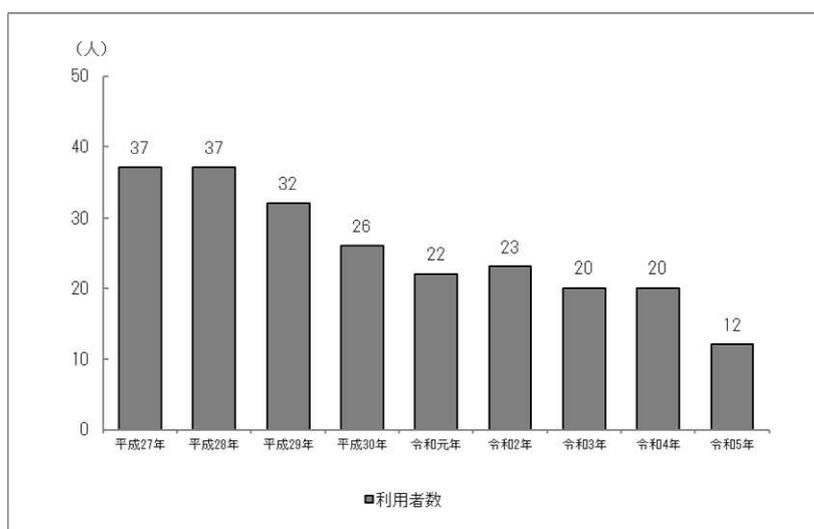
#### ■保育園、幼稚園、認定こども園の利用児童数の推移



### (2) 幼稚園の利用状況

- 利用者数は平成29年から減少しています。
- 令和5年になり急激に減少しています。

#### ■幼稚園の利用者数の推移

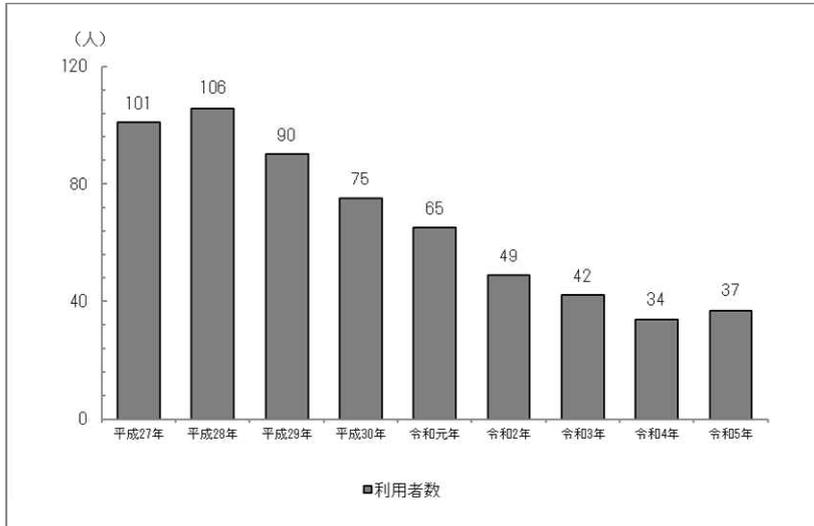


### (3) 認定こども園の利用状況

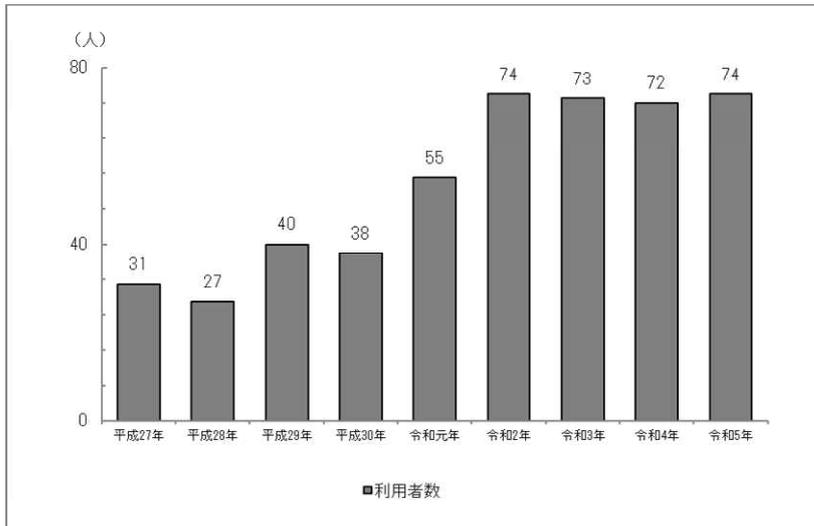
○認定こども園（教育部門）は近年減少傾向にあります。

○認定こども園（保育部門）は平成29年から増加し、令和2年以降は70人台で推移しています。

#### ■認定こども園(教育部門)の利用者数の推移



#### ■認定こども園(保育部門)の利用者数の推移



### (4) 認可外保育施設の利用状況

認可外保育施設とは、保育を行うことを目的とする施設で、児童福祉法に基づき都道府県知事（政令指定都市、中核市市長を含む）が認可している認可保育所以外の施設です。

羽幌町では、「天売ちびっこランド」があります。

#### ◆民間運営の保育・託児施設

【施設数】 1 所（天売ちびっこランド）

【児童数】 天売ちびっこランド 3 名（5 歳児 1 名、3 歳児 1 名、2 歳児 1 名、）

※令和6年4月1日現在の児童数

### 3 地域子ども・子育て支援事業の状況

「次世代育成支援行動計画」に沿った形で、子ども・子育て事業計画の法定事業の実施状況を以下にまとめています。

#### (1) 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）

公共施設や保育所等、地域の身近な場所で、子育て中の親子交流・育児相談等を行うサービスです。

羽幌町では平成 28 年度までは「羽幌保育園内」に子育て支援センターを開設していましたが、平成 29 年度からは場所を「すこやか健康センター内」に移し、実施メニューを拡大して地域子育て支援拠点事業を実施しています。

##### 【実績】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	2,025	2,526	2,158	1,984	1,668

#### (2) 妊婦に対して健康診査を実施する事業（妊婦健康診査）

妊娠中の母親の健康状態やおなかの赤ちゃんの発育状況などを定期的に確認するため、基本健診 14 回を公費負担するサービスです。

##### 【実績】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用人数(人)	51	41	43	35	25
年間延べ人数(人)	367	346	286	200	163

平成 30 年度から、産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後 2 週間前後及び 1 カ月前後の出産後間もない時期の産婦に対する健康診査 2 回を公費負担しています。

#### (3) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）

生後 4 か月までの乳児がいる家庭を助産師又は保健師が訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境を把握し、助言等を行うサービスです。

##### 【実績】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問率(%)	100.0	100.0	100.0	94.7	100.0

**(4) 養育支援訪問事業及び要保護児童対策協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業**

児童の養育について支援が必要でありながら、積極的に支援を求められない状況にある家庭に対し、過重な負担がかかる前に、訪問による専門的な指導や育児・家事支援等を行うサービスです。

**【実績】**

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	3	5	6	3	2

**(5) 子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）**

**【ショートステイ】**

保護者の病気や出産、家族の介護、冠婚葬祭等への出席のため、家庭において児童の養育が困難になった場合、児童養護施設又は乳児院において子どもを一定期間（原則として7日以内）一時的に預かるサービスです。

羽幌町には該当する事業はありません。

**【トワイライトステイ】**

保護者が仕事やその他の理由により平日の夜間又は休日に不在となり、家庭において児童の養育が困難な場合に、児童養護施設において子どもを一時的に預かるサービスです。

羽幌町には該当する事業はありません。

**(6) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）**

子育ての手助けがほしい人（依頼会員）、子育てのお手伝いをしたい人（提供会員）、両方を兼ねる人（両方会員）に会員登録いただき、子育てのサポートを提供する相互援助活動を行うサービスです。

羽幌町には該当する事業はありません。

**(7) 一時預かり事業**

保護者の就労や求職活動、病気やけが、出産、介護、冠婚葬祭、リフレッシュ等により一時的に家庭での保育が困難な場合に、週3日を限度に保育所に預けることができるサービスです。

羽幌町では「認定こども園・まき」で実施しています。

**【実績】**

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	13	8	11	11	7
平均利用日数(日)	6.5	6.0	12.5	9.5	3.6

**(8) 時間外保育事業（延長保育・休日保育）**

通常の開所時間（11 時間）を超えて、さらに延長して保育を行ったり（延長保育）、日曜日・祝日にも保育を行ったりする（休日保育）サービスです。

【延長保育の実施状況】 羽幌町には該当する事業はありません。

【休日保育の実施状況】 羽幌町には該当する事業はありません。

**(9) 病児保育事業（病後児保育）**

病気やけがの回復期にある乳幼児（病後児）を専用の保育室で看護師・保育士が預かるサービスです。

羽幌町には該当する事業はありません。

**(10) 放課後児童健全育成事業（こぐま児童会）**

従来の児童館等と小学校内施設（子どもプラザ）を活用し、留守家庭児童に加え、希望する児童を対象に、放課後等における児童の安全・安心な居場所の確保と遊び・学習・各種体験活動の場を提供するサービスです。

羽幌町では、1 か所の施設があります。

**【実績】**

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録児童数(人)	31	29	33	28	23

## 4 ニーズ調査の結果概要

羽幌町では、アとイの2点を把握するため、アンケートを実施しました。

また、子どもからの意見を募集するため、小学4年生～6年生を対象に、アンケートを実施しました。

アンケート結果の主な概要を下記に紹介しています。

ア 就学前児童及び小学生の保護者の子育てに関する意識・意見を把握すること。

イ 子ども・子育て支援事業計画で定める教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業量を推計する基礎データを得ること。

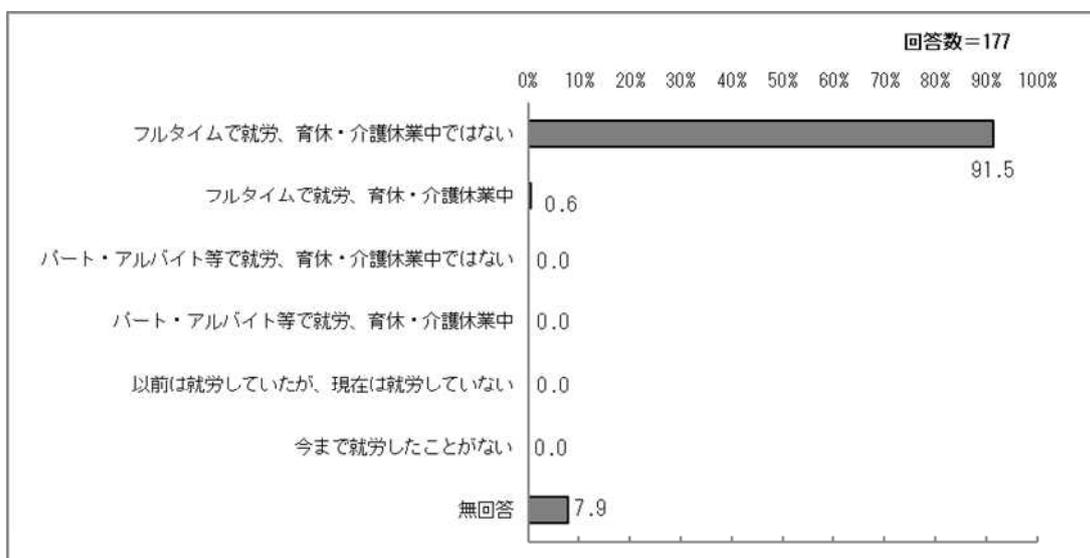
項目	区分	配付数	回収数	回収率
調査対象	就学前児童	132 票	74 票	56.1%
	小学生	181 票	103 票	56.9%
対象者の抽出方法	住民基本台帳からの抽出			
調査期間	令和6年1月29日～令和6年2月29日			
調査方法	郵送による配付・郵送、持参による回収			
小学生アンケート	令和6年2月19日～令和6年3月4日			

### (1) 保護者の就労状況

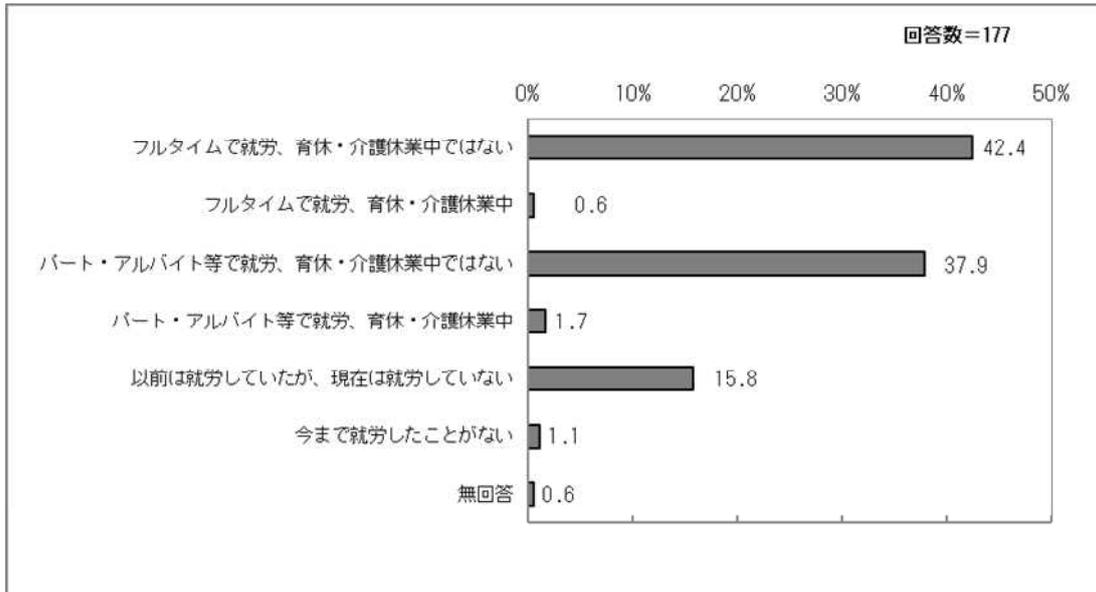
父親の就労状況は、「フルタイムで就労、育休・介護休業中ではない」が91.5%と多数を占めています。

母親の就労状況は、「フルタイムで就労、育休・介護休業中ではない」が42.4%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労、育休・介護休業中ではない」が37.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が15.8%となっています。

#### ○父親の就労状況

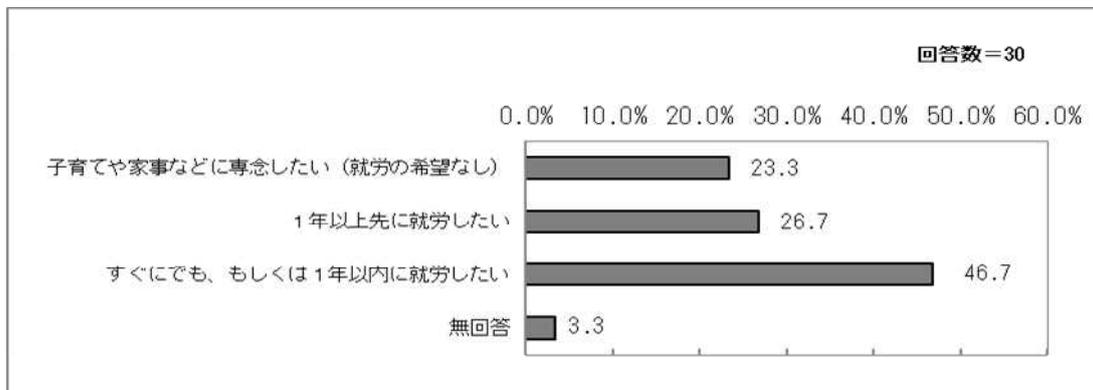


○母親の就労状況（自営業・家事従業者含む）



○現在就労していない母親の今後の就労意向

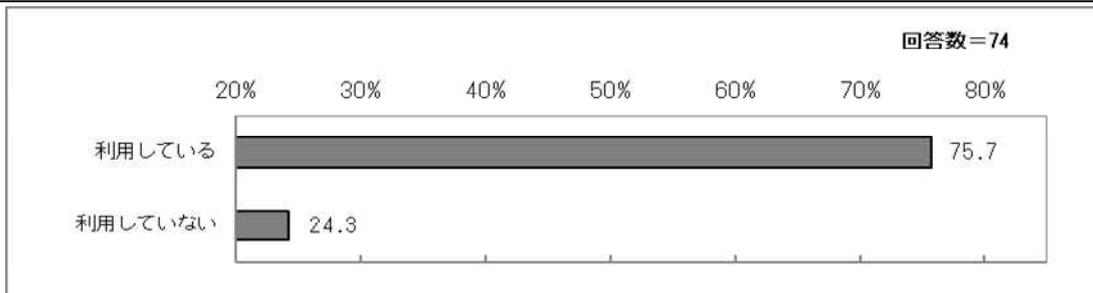
現在就労していない母親の就労意向は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が46.7%で最も多く、次いで「1年以上先に就労したい」が26.7%、「子育てや家事などに専念したい（就労の希望なし）」は23.3%となっています。



(2) 教育・保育事業の利用について

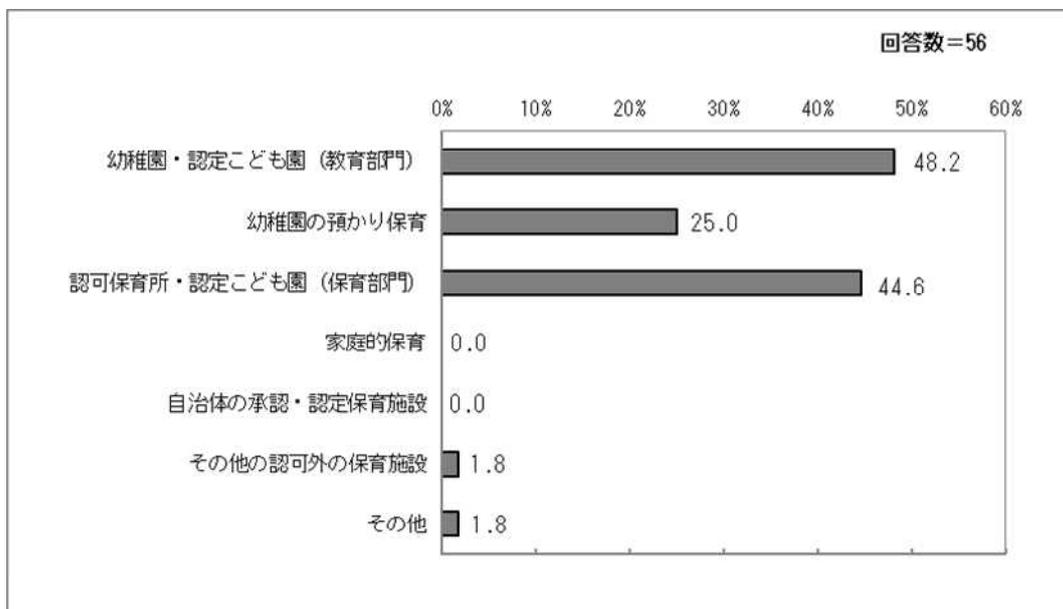
○平日の定期的な教育・保育事業（幼稚園、保育所など）の利用状況

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が75.7%、「利用していない」が24.3%となっています。



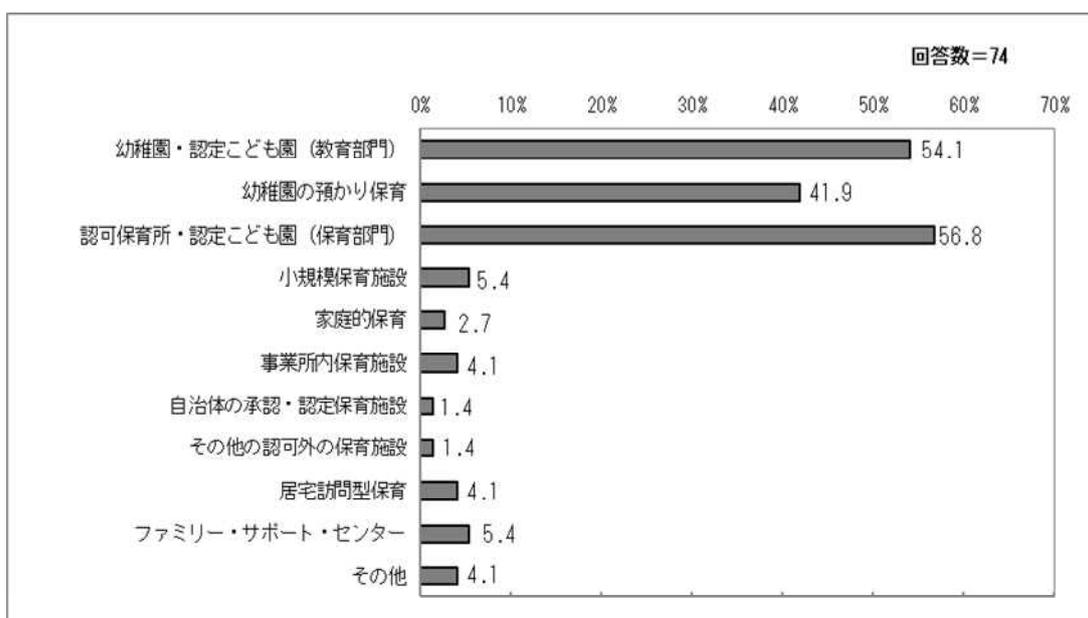
○利用している教育・保育事業

定期的にご利用している教育・保育事業は、幼稚園・認定子ども園（教育部門）が48.2%で一番多く、認可保育所・認定子ども園（保育部門）が44.6%、幼稚園の預かり保育が25.0%でした。



○今後、利用したい教育・保育事業

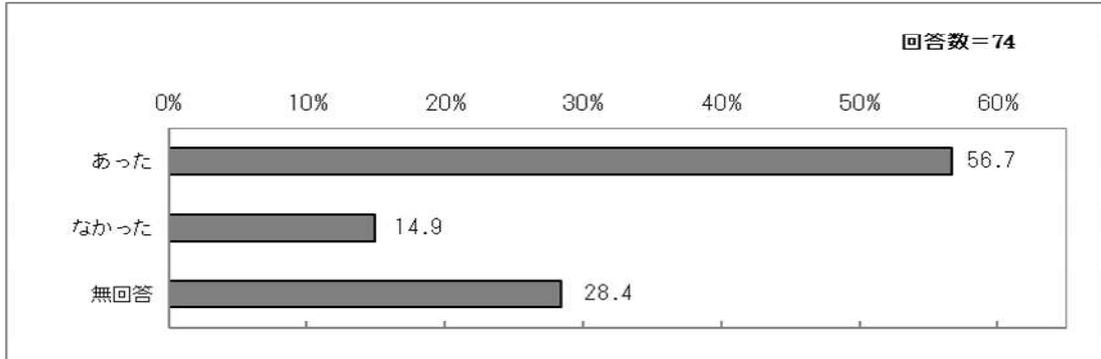
今後、定期的にご利用したい事業は、「認可保育所・認定子ども園（保育部門）」が56.8%で最も多く、次いで「幼稚園・認定子ども園（教育部門）」が54.1%、「幼稚園の預かり保育」が41.9%などとなっています。



### (3) 子どもが病気やケガのときの対応について

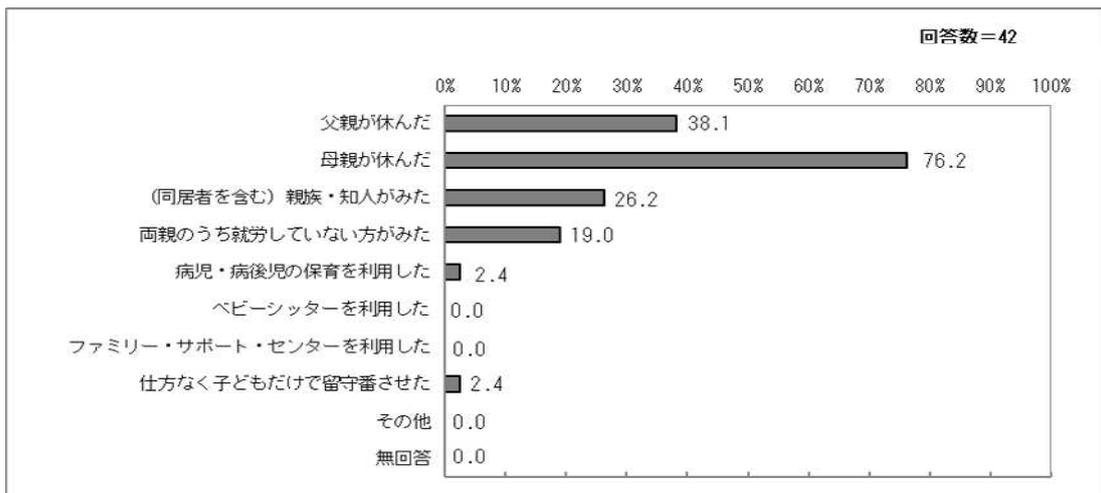
#### ○子どもが病気やケガで教育・保育施設を利用できなかった経験

この1年間に子どもの病気やケガで事業を利用できなかったことが、「あった」が56.7%、「なかった」は14.9%となっています。



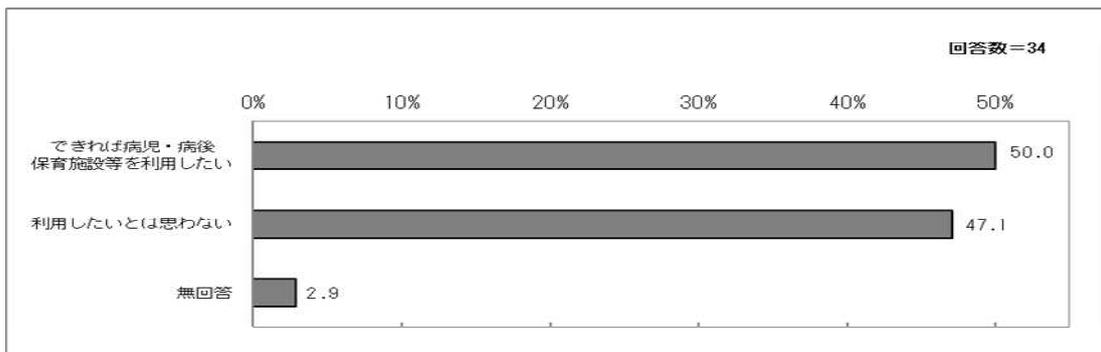
#### ○そのときの対応方法

対処方法は、「母親が休んだ」が76.2%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が38.1%、「(同居者を含む)親族・知人がみた」が26.2%となっています。



#### ○病児・病後児保育の利用意向

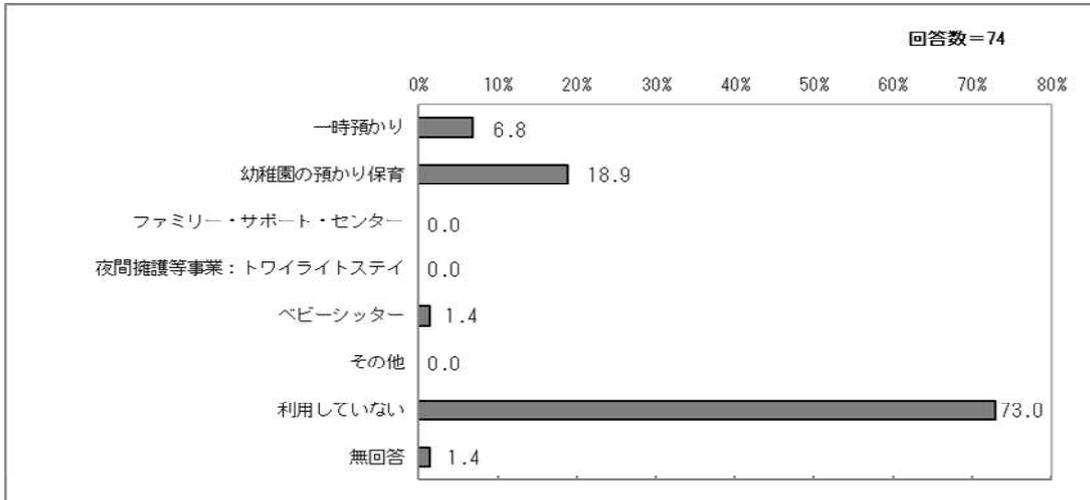
病児・病後児保育の利用については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が50.0%、「利用したいとは思わない」が47.1%となっています。



#### (4) 不特定の教育・保育事業の利用について

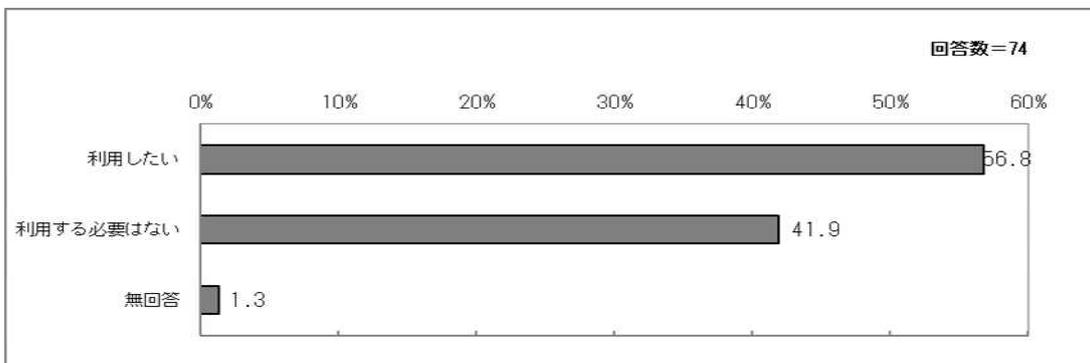
○私用や親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業

不特定の教育・保育事業の利用について、「利用していない」が73.0%で多数を占めます。

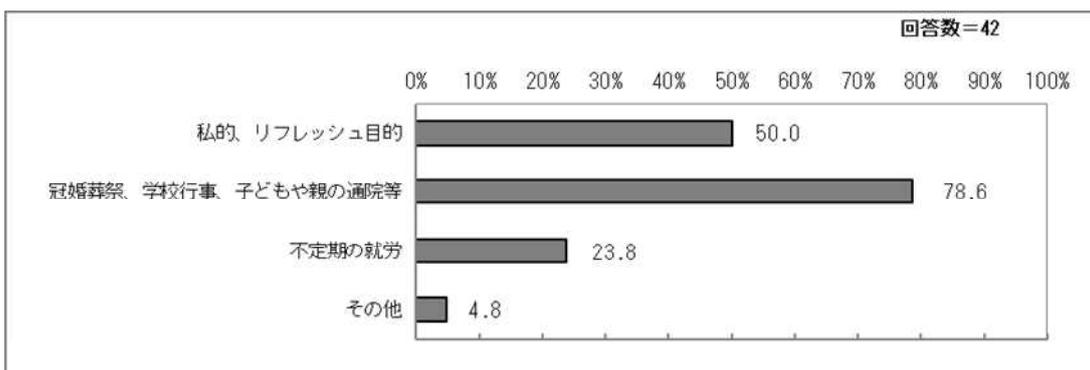


○今後の不特定の事業の利用意向

今後、不特定の教育・保育事業の利用について、「利用したい」が56.8%、「利用する必要はない」が41.9%、となっています。  
 利用する理由としては、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が78.6%で最も多く、次いで「私的、リフレッシュ目的」が50.0%「不特定の就労」が23.8%となっています。



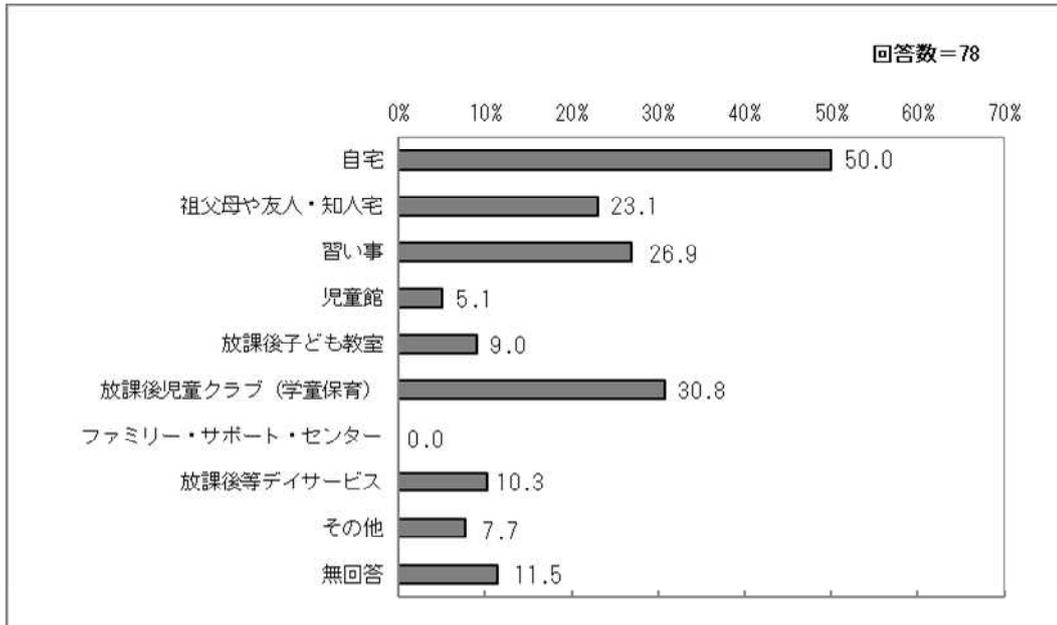
○事業を利用したい目的



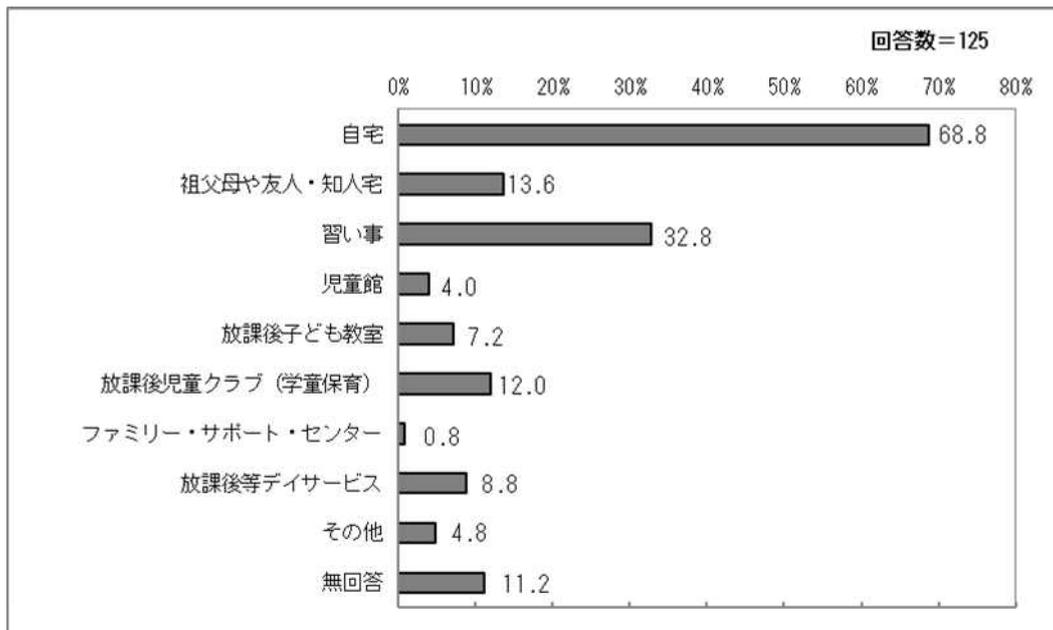
(5) 小学校就学後の放課後の過ごし方

低学年では、「自宅」が50.0%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」30.8%、「習い事」が26.9%、「祖父母や友人・知人宅」が23.1%となっています。  
 高学年では、「自宅」が68.8%で最も多く、次いで「習い事」が32.8%、「祖父母や友人・知人宅」が13.6%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が12.0%となっています。

○低学年のうちに過ごさせたい場所



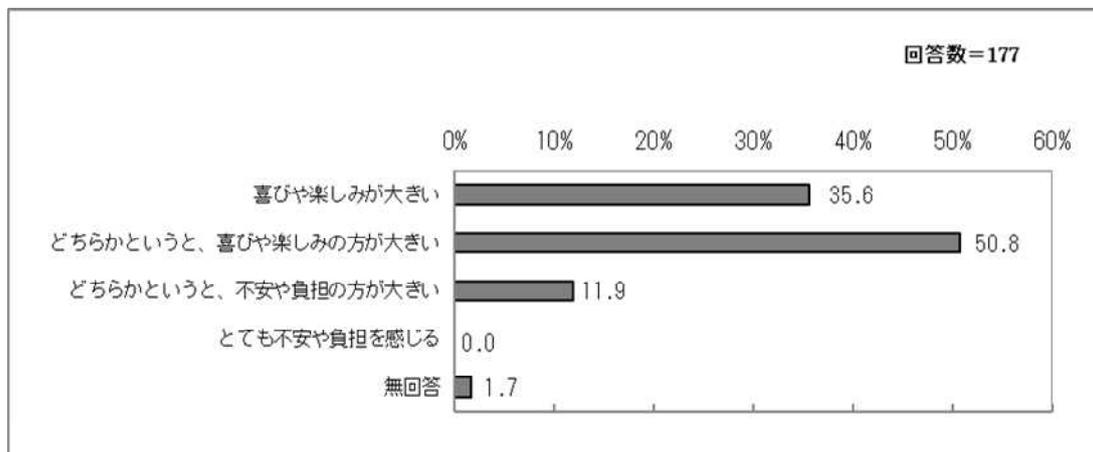
○高学年になったら過ごさせたい場所



## (6) 子育ての実態について

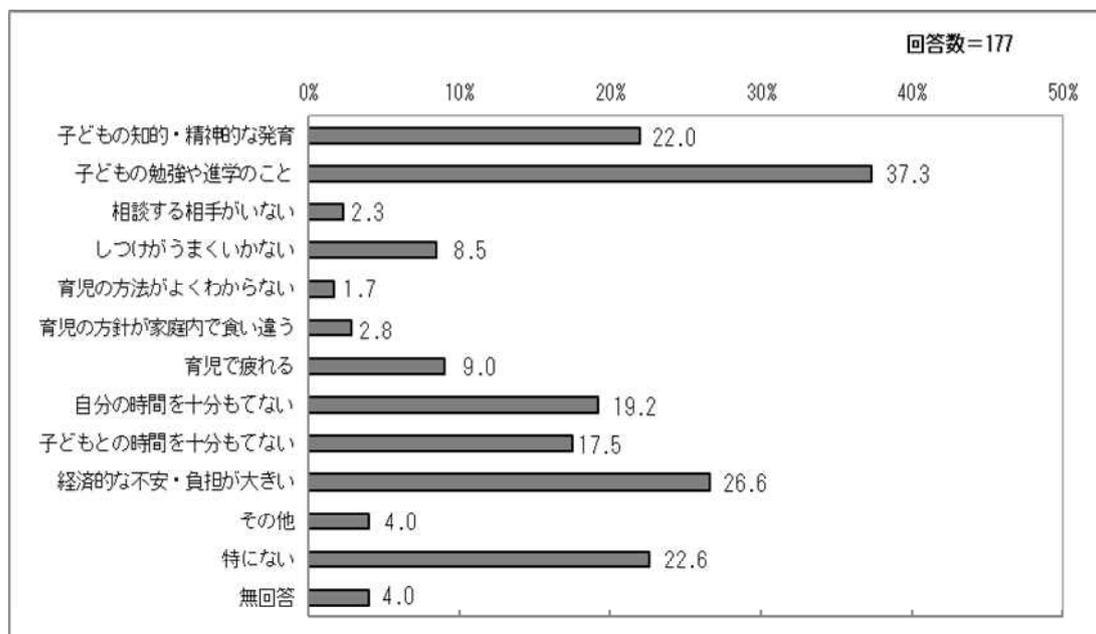
### ○子育てについての不安や負担

不安や負担の感じ方は、「どちらかという、喜びや楽しみが大きい」が50.8%で最も多く、次いで「喜びや楽しみの方が大きい」が35.6%、「どちらかという、不安や負担の方が大きい」が11.9%、「とても不安や負担を感じる」が0.0%となっています。



### ○子育てについての悩み

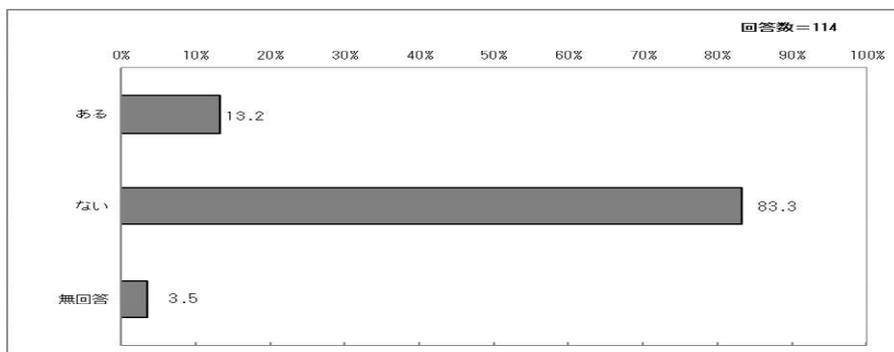
子育ての悩みについては、「子どもの勉強や進学のこと」が37.3%で最も多く、次いで「経済的な不安・負担が大きい」が26.6%、「特にない」が22.6%、「子どもの知的・精神的な発育」が22.0%、「自分の時間を十分もてない」が19.2%、「子どもとの時間を十分もてない」が17.5%となっています。



## (7) 小学生のアンケート結果

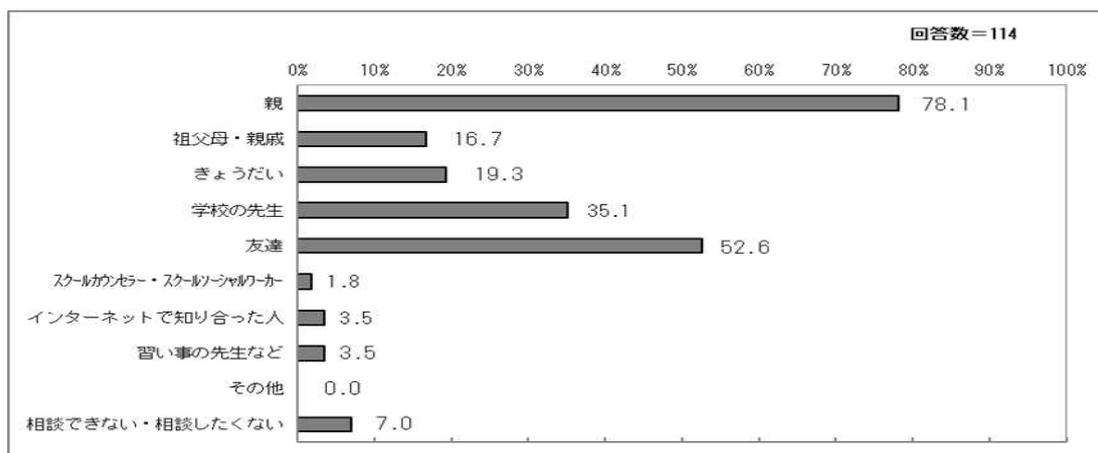
### ○困り事や悩みについて

「ある」と回答した小学生が13.2%となりました。困り事・悩みの主なものは「友達関係」となっています。



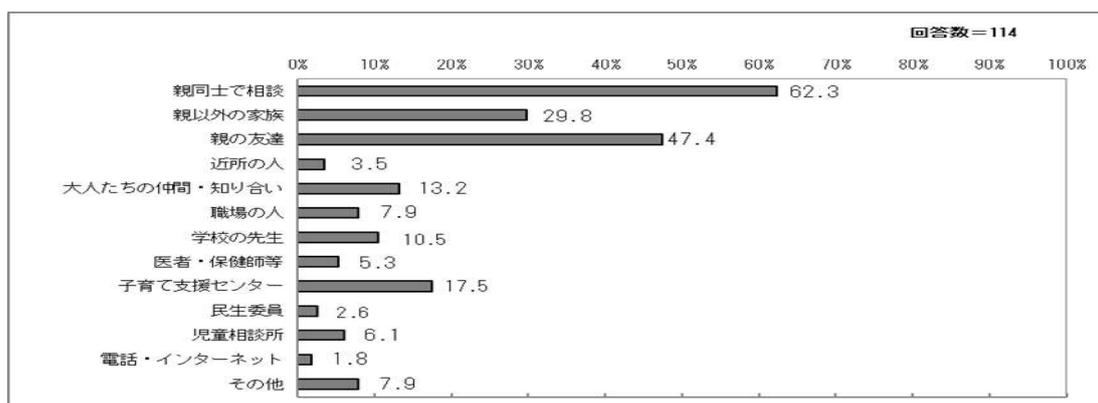
### ○相談したい相手

相談したい相手は、「親」が78.1%と最も高く、「友達」が52.6%、「学校の先生」が35.1%となっています。



### ○親が子育ての悩みを誰に相談すべきか

親が子育ての悩みを誰に相談すべきかについては、「親同士で相談」が62.3%、親の友達が47.4%、親以外の家族が29.8%となっています。



## 5 羽幌町の子ども・子育て支援の課題

---

### □地域のニーズに応じた多様な子育て支援の充実

- 身近な地域で希望する子育て支援サービスを利用しやすくする提供体制を確保するために、提供区域を設けます。
- ニーズに基づく教育・保育の提供体制の確保と実施時期、教育・保育の質的改善を行います。
- 社会情勢や近隣関係、家族構成の変化や就労形態、価値観の多様化によって、教育・保育のニーズの多様化にあわせた、教育・保育のメニューの充実を図ります。
- 地域特性に応じた延長保育、休日保育の拡充が必要となります。
- 「小一の壁」と言われている幼児期から児童期の連続した教育・保育である就学後の放課後クラブへのニーズが高いことから、引き続き充実を図ります。
- 就労の有無に関わらず、子育ての負担や不安、孤立感を踏まえ、様々な場面を通じて、家庭状況を把握しつつ、適切な支援につなげることが必要です。
- 子育て家庭への育児情報提供と助言の拡大を行います。

### □家庭・地域の子育て支援を充実

- 地域の実情に応じた提供対策について、より充実したものにするために、今後も随時検討や見直しをする必要があります。
- 子どもの健やかな育ちを等しく保証するためには、障がい児や発達が気になる子など特別な支援が必要な子どもに対し、一人ひとりの状況や発達に応じた支援が必要です。
- 核家族化、子どもの減少や近隣との関わりの希薄化等により、子育て家庭や子どもと地域住民が関わる機会が減っています。また、地域で子どもや子育て家庭の状況を理解し、関心を深め、地域全体で子育てを支えていくことが必要です。

### □幼児期の学校教育・保育の総合的な提供

- 少子化により、子どもの数の減少とともに、乳幼児期に異年齢の中で育つ機会が減少しています。
- 教育と保育の一体的提供のできる認定子ども園を活用することで、より質の高い教育・保育の提供を行います。

## □ニーズ調査における意見

ニーズ調査では、就学前児童の保護者から自由意見を伺っています。その主なものを羽幌町の課題として項目別に取り上げました。また、小学4年生～6年生に意見を伺っています。

### 子ども・子育て支援の充実

- 通常保育の時間の延長等が週に2～3回あれば大変子育てが助かる。
- 認定こども園と幼稚園との園児数の格差が大きく、是正が必要と思われます。少子化に伴い今後機能を分ける等、無くさないための検討が必要。
- 入園している子どもでも気軽に行けるような遊び場がほしい（子育て支援センターは、入園するときようだいがいと行けない）。
- 子育てや、子どもの発達について親が学べる機会を充実させ、子どもの成長につながる機会があっても良いと思います。
- 放課後児童クラブは、保護者が働いていなければ利用できないので、児童館があると親の就労の有無に関係なく、より多くの子どもが集まれるので作って欲しいです。
- 幼稚園の給食を給食センターなどで対応して欲しい。
- 気軽に相談や話しかけてくれる人がいると、地方から来た人も楽しく住みやすくなると思う。
- 小さい子は園から色々な病気をもらってきます。その度に仕事を休むことになります。このような状況になるのが不安できちんとした仕事につけません。
- 市街地と島で隔差が大きすぎる。通院・検診、子育て支援関係のために宿泊・フェリーを使うときの助成をもっと増やす（宿泊費全額や欠航期間分も宿泊費出すなど）とか、機会を増やしてほしい。
- 助産師さんによる産後ケアは助かりました。
- 産後ケアを島民は受けられないと聞いていますが、自宅まで（島まで）来てもらわなくても、こちらから本土の方に出向いて同じように受けられるように（場所の用意や同条件で助成・相談・ケアが受けられるように）してもらえたらありがたいです。
- ”あそびの広場”を増やしてほしい。ミニ運動会などに参加したいが、フェリーが時期的な都合で行けない。

注 「あそびの広場」は離島地区で実施している子育て支援事業です。

- もっと島で保育する場を増やして欲しいです。大分預かりなど見ていただける回数が増えてとても有難いのですが、なくなってしまうと全く交流もなくなり、子どもが寂しがっているのが悩んでいます。

### 費用の軽減

- 3歳までの保育料が高すぎて利用できない。無料にして欲しい。
- 第1子の保育料軽減・無償化。
- 保育料や祝金の違いで転居する人も多いと思います。
- おむつ購入支援。
- おむつ処理券ではなく処理機の支給（結局袋代がかかるため）。

○小・中学校の給食費無料。

○水道代の一部を負担して欲しい。子どもがいると洗濯をする回数が増えます。

#### 医療体制の充実

○安心して子どもを育てていくためには、ちゃんと診てもらえる小児科が必要です。小さいうちは色々な病気にかかります。吹雪の中、何度も命がけて留萌や深川へ行きました。

○小児の医療体制をもう少し整えてほしい。診てもらいたい時に道立病院で診てもらえず、苫前や初山別に連れて行っている方は多いです。

○この町だと医療にかかるとしたら道立病院だが、やってる日やってない日があり、身近な所にあるのに不便でしかたがない。その為わざわざ遠方まで行く。子どもに何かあったらすぐにかかれる病院を作ってほしい。

#### 公園やイベントなどの充実

○幅広い世代が遊べる大きな公園が必要だと思う。

○充実した遊具施設。

○休日祝日でも利用できる室内の遊び場があると良いと思います（「ちゃいるも」のような）。子育て世代の交流もできるかなと思います。

○外で遊ぶための場所がほしい。低年齢向けの遊具など、公園の整備など進めてほしい。

○水遊びができる噴水のある公園がほしい。

○子どもたちが喜ぶイベントを増やしてほしい（雪まつり、ハロウィン、夏まつり等）。

○羽幌はお母さんたちが各地から来ている人が多い。もっと地域として子どもも親も、年配の方も交わるにぎやかで集まりやすいイベントが必要だと思う。

○昔は町内会で子どものイベントがあったが、今は少なくなっている。町内会などではなく、地域毎（川南、川北、幸町など）にしても良いと思う。

○せっかくフェリーターミナルがあるので、フェリーイベントがあると楽しそう。フェリー内見学とか。

○すでに古くなっている公園の整備。せめて遊具は撤去しても草刈、整備をしてほしい。

○乳児でも楽しめる縁日ごっこや遊べる所がほしい

#### 広報活動の充実

○子育て情報など、お手紙でも良いですが、スマホに一報届くとすごく便利だと感じます。

○行事やイベントの積極的な通知（SNS等）

○民間賃貸住宅情報に間取りを記載したら親切だと思います。

○不審人物等の情報をすぐに知りたい。

○町内で出来る習い事の紹介をしてほしい。

○町から意見、要望を聞きにきてほしい。

## 小学生の意見

(親子で参加できるイベントについて)

- 子どもが運動をできるようになってきたら、他の子どもとふれあえるようにするためのイベントを開く。
- 親子料理教室、親子工作教室。
- 小さい子と遊べる場所がほしい。
- 親子で協力するイベント。親子で体を動かせるイベント。

(子育てをしている大人への手助けについて)

- 子どもを見てあげたり、子育てをしている大人が子どもを見きれない時など面倒を見てあげる。
- 保育園を作り大人が休んだり、家事・仕事ができる時間を作る。
- 手伝いをしたり、相談を聞く。
- 羽幌出身でない人も色々な人と関われる機会があればいい。
- 少して良いからお金の支援など。
- 初めて子育てなどをする人は経験していないから、近くの人などが手伝ってあげたり育て方を教える。
- 子育てをしている大人が、すごく疲れていたり、大変そうと思ったら、少しでも自分ができる手伝いをやる。
- お金や子育ての必需品を配れば良い。
- 教育費の負担。
- 子育てにこまっているときに相談できるところ。
- 子どもの具合が悪いときにあずかってくれる。
- 子どものことをしっかり見守る。
- こまっていたら相談にのってあげる。
- 子どもと遊んでゆっくりさせる。

(町から子育て世帯に対する情報発信について)

- お店に商品が無い場合、お知らせしてくれる。
- 子育ての情報(ほかの家はこうして育てているなど…)。
- 「イベントがあるよ～」みたいな情報。
- ごはんのメニュー紹介。
- 子育てのおすすめ情報。
- 前向きになる情報や勇気が出る情報。
- 子育てのアドバイス。